

国語

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
国語	文学国語	2	2年次・全	全員
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
標準 文学国語（第一学習社）		ビジュアルカラー 国語便覧 国語必携 ライトパーフェクト演習		2年次全員履修科目

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
近代（明治時代）から現代までの優れた作品を読み味わうことによって、文章の内容を正しく理解する力を高めるとともに、興味の幅、知識を深め、自分の意見や感想を的確に述べる力を身に付ける。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習計画と観点別評価項目

学 習 の 年 間 計 画	学期	学習内容（単元・項目）	月	学習のねらい	評価の観点
	1 学 期	現代の小説（一） 「調律師のみ子さん」 「デューク」	4	・登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。	1 2 3
			5	・現代小説のおもしろさを味わい、読解の仕方を習得する。不可思議な現象への興味を持ち、小説全体の構造とねらいを理解する。	2 3
	2 学 期	現代の詩 「生命は」 「そこに一つの席が」 「食事」	6	・現代の詩における形式や表現について理解する。 ・自ら詩を制作し、言葉に対する感受性を磨く。	1 2
7			1 3		
3 学 期	現代の小説（二） 「相棒」 「ナイン」 随想 「花のいざない」 「真珠の首飾りの少女」	9	・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・短編小説のおもしろさを味わう。	1 2	
		10		2 3	
3 学 期	近代の小説（一） 「こころ」	11	・題名に込められた意味を考えながら読んでいく。 ・作品を作者の体験と思考とに分類することで、随想の持つ構成を理解する。	1 2	
		12		1 3	
3 学 期	近代の小説（一） 「こころ」	1	・近代の代表的な長編小説を読解する。 ・登場人物の性格・心理・行動を読み取り、その変化をつかむ。 ・小説世界を自己のものの見方や考え方に引きつけて考える。	1 2 3	
		2			
		3			

令和5年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

観点	1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
学習評価	<p>○定期考査等では、事実的な知識の習得を問う問題と知識の概念的な理解を問う問題とのバランスを取りながら評価する。</p> <p>○課題や提出物の状況を評価に取り入れる。</p> <p>○実生活に必要な国語の知識や技能を身に付けることを期し、技能もはかる多様な評価を目指す。</p>	<p>○定期考査等では、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力が身に付いているかをはかることに注力する。</p> <p>○論述やレポート等、多彩な表現活動を評価に取り入れ、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるかをはかる。</p>	<p>○観点別学習状況の評価を通してはかる。</p> <p>○ノートやレポート、提出物等における記述、授業中の発言、教師による行動観察、生徒の自己評価等の状況も評価に当たって考慮する内容とする。</p>
	<p>手段</p> <p>・定期考査 ・小テスト ・提出物</p>	<p>・定期考査 ・授業中の活動 ・感想文など</p>	<p>・授業中の活動 ・感想文など ・提出物</p>
	<p>単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法</p>	<p>単元末、学期末ごとに評価を総括し、年次末に単元末と学期末の評価を行い評価する。</p>	
学習上の留意点	<p>・小テストの勉強や課題プリントなど、家庭学習をしっかりと授業に臨むこと。</p> <p>・ノートや問題集など、提出物は期限を必ず守ること。</p>		